

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	龍谷大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	リュウコクダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107626
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム(キャリア実習・実習指導)
	学部・研究科等名	全学部
	担当教職員名・役職	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム(キャリア実習・実習指導)総合コーディネーター
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	34
	受入企業等数	31
	受入企業等名	株式会社アイビ建築・株式会社アウルコーポレーション・イオン株式会社・株式会社SC鳥取・エバオン株式会社・近江八幡市役所・一般財団法人大阪教育文化振興財団・一般財団法人大阪スポーツみどり財団・株式会社キッツ・公益財団法人京都府公園公社・株式会社きんでん・ケマーズ株式会社・シミズ薬品株式会社・株式会社JALナビア・住友林業株式会社・双日株式会社・第一生命保険株式会社・武田薬品工業株式会社・日本航空株式会社・日本たばこ産業株式会社(JT)・東近江市役所・フルタニ産業株式会社・HOS株式会社・社会福祉法人みささぎ会・みずほ証券株式会社・三谷商事株式会社・株式会社三井住友銀行・三井不動産株式会社・ヤナセ製油株式会社・NPO法人雪浦あんぱんね・株式会社ロマンライフ
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次～2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	正社員・職員と同様の就業体験ができるよう、実習先の特色のある部門で、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的なプログラム策定し、直接学生を指導する担当者の下、実習を実施。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	教養教育科目(特別講義)「キャリア入門」(前期2単位)受講者または、前年度単位取得者が当該プログラム受講対象者となる。「キャリア入門」でキャリア形成に関連する現代社会における諸問題などを様々な視点から学び、さらに本プログラムで前期授業期間内に全7回の事前学修を実施し、夏期休暇期間中に5日間以上の実習に参加、その後、後期授業開始前に6回の事後学修を実施している。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	コミュニケーションスキルに関するワークショップ、リスクマネジメントを実施している。	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 3.その他	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	実習期間中、実習開始初日・5日目・最終日に、学生から大学へオンラインツールを使用して実習報告をさせている。	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全7回の事前学修の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解、外部講師によるビジネスマナー、ゼミ形式によるグループワークでの実習先業界研究、インターンシップの意義・リスクマネジメントなどを実施している。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	ゼミ形式によるグループワークで、実習内容を振り返り、各自の経験を共有している。そのうえで報告会に向けて、プレゼンテーション資料を作成する。報告会には、企業担当者も招いて開催している。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	担当教員が実習期間中に実習先を訪問し、受入先担当者や学生と面談を行っている。また学生には、実習開始初日・5日目・最終日にオンラインツールを利用して、実習中の様子を大学へ報告するよう指導している。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
		4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	事後学修で学んだことを共有し、言語化して発表をしている。
4-3.上記回答内容に関する詳細		実習前に獲得目標を設定させ、実習後はその獲得目標の達成度や職業観の変化等についてレポートを作成させている。また、報告会で他の実習生の前で発表をさせることで、学生のインターンシップ参加前後の変化を確認し、実習での経験が進路選択に活かせるよう指導している。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	いずれの実習先においても実働5～10日間のインターンシップを実施している。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前学修2日、実習実働5日間以上、事後学修2日
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入先で作成された実習プログラム内容を確認し、学生にとって有益な就業体験となるよう内容によっては変更を依頼している。 実習前の事前学修期間では、実習初日からスムーズに実習に取り組めるよう実習先を訪問(対面・オンライン・電話等)し、獲得目標を共有している。 実習生が毎日記載する日報に、実習先担当者からのコメントを記載いただき、実習終了後には実習評価も記載していただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://career.ryukoku.ac.jp/statistical/data/internship_202306/?pNo=1
問い合わせ先	大学等名	龍谷大学
	担当部署名	インターンシップ支援オフィス
	担当者役職名	
	担当者氏名	インターンシップ支援オフィス担当者
	電話番号	075-645-2322
	メールアドレス	intern@ad.ryukoku.ac.jp